

京都の文化財建築探訪

～ 京都の神社建築・寺院建築・茶室建築 ～

主催 / 京都商工会議所

文化財は、それ自体がかけがえのない文化遺産として貴重な価値を有するとともに、現在及び将来に亘るわが国の文化基盤であり、新しい文化創造とその向上に深く関わって貢献する母胎といえます。

わが国には、世界に類をみない歴史的・芸術的価値の高い建造物が多く残されており、それら建造物は長い歴史の中を先人の努力によって受け継がれ、維持されてきたものであります。

中でも京都は、延暦 13 年(794)平安京として都が移されて以来、今日まで 1200 年以上の歴史があり、全国の約 20% の国宝・重要文化財が護られてきています。

また、京都は平成 6 年(1994)「古都京都の文化財」として世界遺産に登録されています。

今回はこれらの文化財建造物を神社建築・寺院建築・茶室建築の三部門について講義します。

回次	開催日	テーマ
第1回	6月9日 (土)	『神社建築について』 神社建築の創立は神代の時代からあるが、京都市内には平安時代以前のものとして賀茂別雷神社、賀茂御祖神社、松尾大社、伏見稲荷大社等の神社の創立が最も歴史があり、式年造営によって本殿は立て替えられてはいるが、当初の形式をよく残している。現存の神社本殿では宇治上神社が最も古く平安時代に建立されたものである。この講座では神社建築の種類、構造形式、時代判定に至るまで習得する。
第2回	7月14日 (土)	『寺院建築について』 6世紀に百濟から仏像や経典が渡ってきたものの、なかなか広まらず西暦 585 年、聖徳太子の父、用明天皇によってやっと仏教を認めるようになり、太子が摂政になって法隆寺が建立された。近年の発掘調査によって飛鳥寺の部材が発見され、大阪の四天王寺、京都の広隆寺など聖徳太子に関係のある寺院の建立をみたが、当初の遺構はない。奈良時代になると建築も日本化し、法隆寺とは異なった様式の建物が建ち、平安京になってから貴族建築が生まれ、和風化した。鎌倉時代になって禅宗様、大仏様の様式が輸入され、平安時代以前にはなかった様式が生まれた。その後はこれらの様式を取り込み折衷された建築が生まれてくる。この講座では様式や時代考証などをふくめて考えたい。
第3回	8月18日 (土)	『茶室建築について』 茶室の起源については現在まで慈照寺(銀閣寺)東求堂の同仁齋が最古とされているが、学界ではその通説に批判が多い。この茶室では村田珠光が闘茶でたてたことが伝えられ、最初の茶室とされたものといわれた。具体的な構造のわかる茶室としては武野紹鴎の四畳半であるが実在しない。次の千利休によって建立された京都府山崎にある国宝妙喜庵待庵が最古の草庵風茶室である。次に千少庵の湘南亭、古田織部、織田有楽、千宗旦などがそれぞれの境地を開き流儀を作っていく。京都にある国宝・重要文化財指定の茶室について説明したい。



【講師】 ^{ごとう さがお} 後藤 佐雅夫 氏

公益社団法人全国国宝重要文化財所有者連盟事務局長

京都府綴喜郡三木村佐牙神社にて昭和 9 年出生。昭和 28 年から滋賀県教育委員会、昭和 40 年から京都府教育委員会に在籍し、長年文化財建造物の保存修理研究にあたる。平成 6 年 6 月から社団法人全国国宝重要文化財所有者連盟にて従事。

京都・滋賀の両教育委員会在職中の主たる工事監督の実績としては石山寺鐘楼、彦根城天守閣、園城寺勸学院客殿、六波羅蜜寺本堂、仁和寺金堂、本願寺阿弥陀堂、松尾大社本殿、伏見稲荷大社本殿、玉林院叢庵・霞床席、清水寺三重塔、相国寺本堂、龍谷大学本館、教王護国寺各門、南禅寺三門、妙心寺庫裏、壬生寺大念仏堂、賀茂御祖神社本殿、賀茂別雷神社本殿ら合計 132 棟の修理工事を監督。

平成 12 年 10 月 30 日 文化財保護功労者文部大臣表彰受賞(文部大臣)

平成 16 年 11 月 10 日 旭日双光章(内閣総理大臣)

- 【時間】 全コース 10:00～12:00 (休憩なし)
- 【受講料】 各コース おひとり様 2,000円 (レジュメを含む)
- 【定員】 各コース 200名 ※定員になり次第締め切ります
- 【会場】 京都商工会議所 講堂 3F 地下鉄烏丸線 丸太町南改札6番出口

【お申込み方法】

- ①受講料を下記振込口座にお振込み下さい。(振込手数料はご負担下さい)
- ②「受講申込書」に必要事項をご記入の上、「受講申込書」と「振込金領収証のコピー」を一緒に、郵送もしくはFAXで下記申込先までお送り下さい。

受講料振込口座

京都銀行 本店営業部 普通預金 4085210 「京都商工会議所」

【注意事項】

- (1) 申込期間は開講日の1週間前までと致しますが、申込期間内にお申込みが定員に達した場合には、その時点で締め切りますので、お早めにお申込み下さい。
- (2) 受講申込書のご提出と受講料のお振込みをもってお申込み完了となります。「受講証」は、開講日1週間前を目処にお送り致します。
- (3) 既納の受講料は講演会中止のとき以外は返金致しませんのでご了承下さい。但し、申込時に定員オーバーのためご受講頂けない方に対しましては、その旨をご連絡の上、返金致します。
- (4) 原則として本講演会のキャンセルは受け付けておりません。代理受講は可能です。ご欠席の場合は資料を後日送付致します。
- (5) 都合により、講師、日程、内容の変更がある場合がございます。

【お申込・お問合せ先】 京都商工会議所 会員部 京都検定講習会 係

〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル (地下鉄烏丸線「丸太町」6番出口)
 TEL 075-212-6416 FAX 075-222-2612 e-mail:school@kyo.or.jp
 http://www.kyotokentei.ne.jp/

-----切-----り-----取-----り-----線-----

FAX : 075-222-2612

平成24年度「京都の文化財建築探訪」受講申込書

※全て正確にご記入ください

@2,000-

[氏名]	ふりがな 漢 字	[受講料振込] 銀行/信金 支店より (月 日 _____ 円 振込完了)		
<p>[希望講座] ご希望コースの□欄にチェックし、合計金額をご記入ください</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%; border: none;"> <input type="checkbox"/> 第1回 (6/9) 「神社建築について」 <input type="checkbox"/> 第2回 (7/14) 「寺院建築について」 <input type="checkbox"/> 第3回 (8/18) 「茶室建築について」 </td> <td style="width: 40%; border: none; vertical-align: top;"> ◆1コース毎のお申込み おひとり様 2,000円 ◆既納の受講料に関しては返金 致しませんのでご了承ください。 </td> </tr> </table> <p>■ 2,000円 × 計 _____ コース受講 合計金額 _____ 円</p> <p style="text-align: center;">※ 既納の受講料に関しては返金いたしませんので、ご了承ください。</p>			<input type="checkbox"/> 第1回 (6/9) 「神社建築について」 <input type="checkbox"/> 第2回 (7/14) 「寺院建築について」 <input type="checkbox"/> 第3回 (8/18) 「茶室建築について」	◆1コース毎のお申込み おひとり様 2,000円 ◆既納の受講料に関しては返金 致しませんのでご了承ください。
<input type="checkbox"/> 第1回 (6/9) 「神社建築について」 <input type="checkbox"/> 第2回 (7/14) 「寺院建築について」 <input type="checkbox"/> 第3回 (8/18) 「茶室建築について」	◆1コース毎のお申込み おひとり様 2,000円 ◆既納の受講料に関しては返金 致しませんのでご了承ください。			
<p>[現住所(お住まい)] 〒 _____</p> <p style="text-align: center;">TEL _____ FAX _____</p>				
<p>[緊急連絡先] (臨時休講・会場変更など緊急の場合、昼間にご連絡致します)</p> <p style="text-align: center;">TEL _____</p> <p style="text-align: center;">※上記電話は、<input type="checkbox"/>自宅(携帯電話などを含む) / <input type="checkbox"/>勤務先 です。</p>				

※本申込書にご記入頂いた個人情報は京都商工会議所の検定、講座実施に必要な業務、事務、各種情報提供のみの目的に利用します。